一番、大木（おおき）

「よろずよの　願い　大木の
観世音　あの世と共に
助けたまえや」

真言宗　紅梅山　常安寺
喜多方市塩川町大田木字塚田三二八一－一
本尊　十一面観世音　集落管理
駐車場　あり
トイレ　あり☆

徳一の開基とされていますが、定かではありません。大木村を開いた大木左馬亮（おおきさまのすけ）は、常安（つねやす）長者とも呼ばれて富豪です。常安は子が出来ず、長命とされる鶴を飼いますが、亡くなり村の南西に埋めたのが鶴塚。

現在住む大木氏は、その子孫。天正十七年（一五八九）伊達政宗により寺は焼失し、上杉景勝が再建しました。

仁王門から入ること。集落内道路狭し。「救けた給えや」は「助け給えや」が正しい。

二番、松野

「朝日さす　夕日輝く
おお山でら　松野のさとに
はるる薄ぐも」

曹洞宗　物宝山　良縁寺
喜多方市慶徳町松舞家字松野七三〇
本尊　千手観世音　集落管理
駐車場　なし　路駐
トイレ　なし

行基の開基とされますが違います。松野千光寺といわれ、僧院は三百以上あったといいます。当時を偲ぶものとして平安時代末の経塚が山上あり、須恵器系中世陶器が出土しています。

寺は慶長十六年（一六一一）の慶長会津大地震で倒壊し、再建されますが、元禄七年（一六九四）五月に焼失し、今の堂はその後再建されたものです。

道路に駐車します。集落内道路狭し。

三番、綾金（あやがね）

「つゆの身の　夢まぼろしの
世の中に　身をあやがねと
いで　祈るらん」

曹洞宗　長流山　金泉寺
喜多方市豊川町米室綾金一五五
本尊　十一面観世音　集落管理
駐車場　あり
トイレ　なし

現在は、綾金地区は神徒となり檀家のいない寺となっています。室町時代には、現在地の西、三百メートルの市道脇の墓地付近にあり、二十五に及ぶ堂舎が並ぶ大寺院でした。

その後焼失し、現在地に移転していますが、集落の檀家がすべて神徒になったため堂は集落で管理しています。東に地蔵堂があります。

マイクロバスの駐車は堂前には無理。集落内道路狭し。

図・写真・文　©石田明夫　問合せ　TEL・Fax 0242-24-3423
メール・ホームページ「考古学から見た会津の歴史」で検索